

基地負担軽減へ集会

1100人、統合反対など決議



【嘉手納】嘉手納基地と普天間飛行場の負担軽減を求める「嘉手納統合案反対決起集会」が8日、嘉手納町のロータリー広場で開かれた。主催は、嘉手納と普天間の両爆音差し止め訴訟原告団、沖縄平和運動センター、中部地区労。

普天間の県外移設を訴えるため17日に訪米する仲井真弘多知事を後押しするために開催。約1100人(主催者発表)が参加し、普天間から高江まで「これ以上基地負担増に反対し、こぶしを振り上げる主催者ら」嘉手納町嘉手納

の基地負担は「いらぬ」と決意のこぶしを振り上げた。

嘉手納原告団の新川秀清団長は「県民意思を無視した計画は気を抜かず、退かす止めていこう」と呼び掛けた。普天間訴訟団の島田善次団長は「日本政府のやり方は沖縄差別そのもの。手を取り合い沖縄が立ち上がろう」と力強く訴えた。大会では普天間の辺野古移設や嘉手納統合案、オスプレイ配備、高江ヘリパッド建設などに反対する決議を採択。14日に県と県議会に決議を手渡す予定。